

### 令和3年度予算に 対する総括質問(要旨)

3月16日~18日  
予算審査  
特別委員会

◆答弁者は各部長です。  
◆総括質問の全文(会議録)は、5月下旬に  
ホームページに掲載します。

#### 坂本あずまお (自民党)

##### 情報を基軸とした区政運営を

問 データ資本主義が広がっていく時代の中で、情報を政策のツールとして活用すべきか。

答 データ活用とタイムリーでわかりやすい情報発信に取り組むつつ、デジタル化・オンライン化を加速させていく。

##### ブランド戦略の強化を求めて

問 ブランド戦略は、重点戦略として機能するのか。自己評価と外部評価が違うのでは。

答 板橋の魅力創造・発信し、愛着と誇りを高めていく必要がある。重点戦略の一つに定めた。試行錯誤しながら展開し、評価を一致させていく。

##### 高校で学ぶ地理総合に結

びつような体験的学習に取り組むべき。

#### 間中りんぺい (自民党)

##### 区施設の仕様の標準化を問う

問 こども動物園に、高価な照明が使われているが、区施設を整備する際の仕様標準は。

答 2年度までに施設全般の標準仕様を定めている。この標準仕様を各部署と共有し、施設整備に活用する。

##### 区民の声を聴く取組みを

問 広聴活動経費が他区と比較して極端に少ない。区民の声を聴く取組みを拡充すべき。

#### 成島ゆかり (公明党)

##### 移動困難者への接種を問う

問 訪問診療を受けておらず、接種会場に行くことが困難な在宅要介護者などへの対応は。

答 訪問で接種できる医療機関を調整し、対応していく。

##### 不妊・不育症への支援を問う

問 グリーフケアを含めた不育症の相談体制を構築するとともに、里親などの多様な選択肢の情報提供を実施すべきか。

答 不育症の相談ができることとの周知から始め、関係機関と連携し研究する。情報提供についても、必要な支援を案内できるように推進するか。

#### 中村とらあき (自民党)

##### 卒園後の支援を求めて

問 児童養護施設に入所している児童は、措置延長を除き、18歳で退所となる。児童相談所設置後の支援のあり方は。

答 各施設の児童について、退所前の17歳の時点で方向性を決定する仕組みづくりを検討していく。

##### 上板橋一中の改築計画を問う

問 計画が延伸され、コロナ禍の状況で計画どおりに進むか地域は不安である。影響は。

答 3年度から学校関係者や地域の方と丁寧な協議を重ね、基本構想・計画の策定など、着実に改築を進めていく。

##### 新中央図書館との結びつきを

問 隣接する上板橋三中や、

他区と遜色なく広聴活動を実施していると考えている。他区の優れた取組みを参考に、広聴活動の充実を図る。

##### 住みよくなるまちをめざして

問 板橋区は犯罪件数が比較的多いと言われる。一番住みよくなるまちの大きな支障となるが、犯罪発生件数を

#### 田中いさお (公明党)

##### 新型コロナウイルスワクチンを問う

問 土日及び平日夜間の接種の実施を求める。見解は。

答 十分なワクチンが供給されるようになった場合は、日時を選べる個別接種を主として、土日や夜間も含め、区医師会と協議していく。

##### 接種会場での人材確保策

問 接種会場での人材確保策について、見解は。

答 区医師会や医療機関との内できるようなしていく。

##### フレイル予防事業に参加ポイン

ト制度を導入するか。

答 導入している自治体の事例を参考に、地域特性をいかした制度の検討を進めていく。

##### 避難行動要支援者の個別支援

計画について問う

問 福祉専門職と協働し、個別計画の作成を推進すべきか。

答 今後の検討委員会において、福祉専門職による平常時の計画作成に加え、災害時の計画を作成する体制の整備など、課題の整理に精力的に努めていく。

##### 図書館1階のエントラン

スホールには、物販コーナーを設置できるスペースがあるため、障がい者の活躍の場としての出店などを検討する。

##### ホームドアの整備促進を

問 東武鉄道と連携を図り、各駅のホームドア設置の早期実現を求める。見解は。

答 No.1実現プラン2025の中で、東武鉄道と協議を行うことを明確にした。今後、国や都の支援を受けながら、早期実現に向けて取り組む。

#### 竹内 愛 (共産党)

##### UR高島平団地を問う

問 共益費が引き上げられる予定だが、住民の共益費や家賃への負担感に対する認識は。

答 UR都市機構が適正に対応しているものと考えている。今後、実施内容を検討する。

##### 職員の働き方改革を問う

問 職員定数を増やさず目標を達成することは困難では。

答 組織的な協力や支援を重視し、目標達成に取り組む。

##### 壁にならない生活保護行政を

問 生活保護申請時に行う扶養照会が義務ではないことを、申請者に説明しているのか。

答 扶養照会の必要性や趣旨とともに、保護の要件ではないということを説明している。

##### 申請書類である調査の同

意書などにも、扶養照会が義務ではないことを明記すべきか。

答 生活保護法施行細則準則の標準様式のため、文言の修正は考えていない。扶養照会の趣旨は丁寧に説明している。

##### 志村小・志村四中の小中一貫

型学校説明会を問う

問 説明会開催により、区民の理解が得られたと考えるか。

答 説明会の意図は、様々な意見を伺い学校整備にいかすことである。丁寧に説明し、理解が得られるよう努める。

##### あいきッズについて問う

問 保護者が求職中の場合などの一時的な理由でも、さらにタイムズを利用できるようにすべきか。

答 個別の事情を認定し、一時的な利用を承認することは、現在考えていない。

#### 渡辺よしてる (民主クラブ)

##### 子育てしやすい環境づくりを

問 父親の育児参加が重要であると考えるが、区ではどのような支援をしているか。

答 新型コロナウイルス感染症の流行により、両親学級は休止している。今後、オンライン開催や動画配信などの新たな手法を検討していく。

##### 父親向けに育児の基礎知識

を紹介している「いたばしPAPABOOK」をSNSでも配信しては。

答 ツイッターやインスタグラムで直接内容が見られるよう、直ちに対応する。

#### 中妻じょうた (民主クラブ)

##### 区の人口減少を問う

問 区の人口が減少に転じた現状をどう捉えているか。

答 コロナ禍による働き方の変容などによるものと考えられるが、一過性のものかどうか注視していく。

##### 学校のICT化を問う

問 タブレットの持ち運びは負担が大きいため、教科書は学校に置いたままとしては。

答 子どもに負担がかからないような形で決定していく。

##### 学校からのプリントをオ

ンライン化すべきか。

答 検討を進めていく。

#### 井上温子 (無所属の会)

##### 学校生活支援員の配置を問う

問 知的障がいの場合は配置できないとしたのは差別では。

答 相談員の誤解であった。誤解を招かないよう配置基準の内規を改善していく。

##### 重層的支援事業について問う

問 参加支援の担い手として地域福祉コーディネーターを地域交流拠点の現場に配置を。

答 拠点への配置は有意義な視点。第3層の担い手の視点を大事に支援方法を検討する。

#### こんどう秀人 (無所属議員)

##### NHKの割増金制度を問う

問 区施設に設置・撤去した受信機の申告漏れはないか。

答 毎年、設置状況の調査を行っている。受信料割増金制度を踏まえ、正確な台数の把握と、適正な契約に努める。

#### 高山しんご (無所属議員)

##### 老朽化した看板の管理を問う

問 管理が行き届いていないと考えるが、今後の対応は。

答 管理手順を構築し、区が恒久的に設置する看板は長持ちするものに改める。区以外の各機関にも対応を要請する。

##### 経営安定化特別融資を問う

問 コロナ禍により影響を受けている中小企業者を支援する特別融資の融資期間や利子補給期間を延長できないか。

答 返済開始までの据置期間を2年とする。事業の安定化を図るとともに、負担の大きい当初4年間について10割の利子補給を行う。

#### 長瀬達也 (市民)

##### 情報提供にLINEの活用を

問 新型コロナウイルス接種の情報提供にLINEチャットボットを活用しては。

答 直ちに導入する予定はないが、今後の検討課題とする。